

岡山から宙を望む ～惑星物質研究所の拓く惑星科学の最前線～

日時:2025年11月5日(水)13:00～17:00

会場:岡山大学共創イノベーションラボ([KIBINOVE](#))

対象:本学学生・教職員 ※事前申込み不要 ※入退出自由

出張講義 (5階イノベーション創出フロア)

13:00～13:15 芳野所長(リモート)挨拶・惑星研紹介

13:15～14:00 第1講 国広 卓也 先生

「小惑星物質から探る初期太陽系 ― 我々は何処から来たのか?」

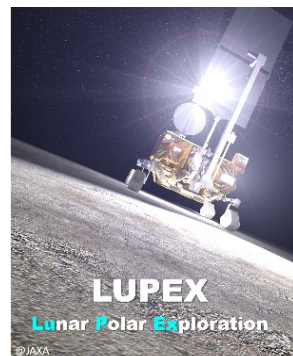
14:10～14:55 第2講 Ruj Trishit 先生

「History of Water On Mars」

15:05～15:50 第3講 大竹 真紀子 先生

「月面探査の最前線・LUPEX計画による水探査 Investigating Lunar Water by LUPEX mission」

16:00～16:45 講師・参加者交流会 (フリースタイル付き)



月極域探査機LUPEX

展示「小惑星リュウグウ試料のリモート観察」 (4階リモートアクセスステーション)

13:30～16:30 惑星研の走査型電子顕微鏡をリモート運用し、実際の小惑星リュウグウ試料を観察できます。担当者の解説によって、初期太陽系物質の理解を深め惑星物質科学研究の最先端に触れる貴重な機会です。



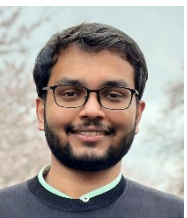
小惑星リュウグウ粒子

講演者紹介



国広 卓也 准教授(惑星物質分析化学部門)

専門は太陽系物質科学。特に二次イオン分析計を用いた局所分析による隕石を用いた、物質の起源・進化・ダイナミクスに関わる研究を精力的に行っています。惑星研で行った、小惑星リュウグウ試料の初期解析にも中心メンバーとして参画しました。



Ruj Trishit 准教授(惑星表層環境部門)

専門は惑星地質学・地形学。特にリモートセンシングデータと、実験的手法や地球上のアナログ地形の解析を組み合わせ、火星地形の形成過程、形成条件に関する研究を行っています。2025年10月に惑星研に導入された火星環境シミュレーションチャンバーの運用責任者として、その活用をけん引します。



大竹 真紀子 教授(惑星表層環境部門)

専門は月面探査・月岩石学。インドと共同で進められている月極域探査機「LUPEX」ミッションのアウトプットデータクリエーションチーム(ODCT)のチーム長としてプロジェクトをけん引しています。長年にわたる太陽系探査と惑星科学の発展に関する貢献により、2025年7月にNASA太陽系探査研究バーチャル研究所(SSSERVI)のコラディーニ賞を受賞しました。